

Project

地域プロジェクト（2019 前期～2019 後期）

15

地域協働専攻  
地域政策グループ

## 子どもを対象にした法教育プロジェクト

【メンバー】 [学 生] 木又 弘貴/吉田 愛美/小山 瑞葵/佐々木 優太/澤田 杏実  
山上 優樹/中原 麻衣/佐々木 楓真/藤川 尚弥/大沼 璃梨佳  
[担当教員] 伊藤 泰/金 鉉善

### 【背景】

都市化や核家族化の影響によって保護者などは忙しく決まりについて教えられないことから、子どもたちが自分で判断し、考える機会を設ける。

### 【目的】

活動を通して、やってよいこと、悪いことを判断する力、価値判断を養う。

### 【概要】

前期については、さるとわにのカレーとぶたさんのつみきの二作を函館蔦谷書店で月に一回人形劇を行った。この二作は製作には関わっていないが小物作りや、法についての理解などを含め、経験を積むということを重点的に意識し、活動を行っていた。後期は、前期の経験を活かし、自分たちで物語作成を行った。函館蔦屋書店での経験を活かし、小学校での人形劇をイメージし、対象年齢を小学校低学年向けに物語を一つ製作すると同時に、ぶたさんのつみきを継続的に函館蔦屋書店で人形劇を行ってきた。

### 【プロセスと成果】

前期では、「使用貸借」「交換契約」をテーマとした物語をどうすればよく伝えることができるか、ということを考えて人形劇の小道具作りをし、それと同時に法についてのレクチャーを受けて、自分たちが教える前に法とは何かということを学んだ。人形劇の中で問いかけをつくり、きまりなどを伝えた。想定よりも多くの子どもが集まってくれた。また、問いかけに回答してくれる子もいたため、発表がスムーズにできた。

後期では、物語を自分たちで作成し、子供たちに法を正しく教えることの難しさを知った。実際に民法を基に子どもたちが実際に起こるかもしれない出来事をわかりやすく、法務省の動画をもとに製作をした。それと同時に函館蔦谷書店で劇を行い、よりわかりやすい人形劇を心がけて演じていた。最終的にどうすれば良く伝えられるか、子供たちは興味を示してくれるのかを意識して活動をすることができた。



活動の様子

### 【総括と反省・今後の課題】

前期では、3年生・2年生のメンバーが合同で活動を行い、計4回、函館蔦屋書店キッズパークでの人形劇の発表を行い、函館校オープンキャンパスにおいても地域政策グループの説明会で人形劇の発表を行った。劇の内容としては、民法第586条にある「交換契約」について、「さるとわにのカレー」、民法第593条にある「使用貸借」について、「ぶたさんのつみき」という二つの人形劇を通じて子どもを対象とした法教育のプロジェクトを進めていくと同時に、私たち2年生も法教育とは何か、子どもにうまく伝えるにはどうすればよいかを学んだ。人形劇を行う中で、毎回反省点を出し合い、劇の役を演じる際の反省点を、回を重ねながら改善していき、また、2年生が単独で活動を行う後期にどのような活動を行っていけばよいかを考えた際に、私たちが発表相手として想定している対象年齢と、実際に劇を見てくれている子どもたちの年齢層に違いがあったという反省を生かし、後期の活動の方針を決めた。そこで、後期では、前期同様に「ぶたさんのつみき」の台本を利用した函館蔦屋書店キッズパークでの活動を行うと同時に、法教育プロジェクトの対象年齢を小学校低学年～中学年とした新たな人形劇の台本作りに取り組むこととなった。函館蔦屋書店での発表は、計3回行い、いずれも20人前後の子どもたちに人形劇を見てもらうことができた。また、同時に進めていた新たな台本作りでは、法務省による小学生向けの法教育の教材を参考にしながら、新しい台本を作り上げることができた。本来の予定では、私たちが、この台本を発表する機会を設けたいと考えていたが、成果発表会までの期間に、機会を確保できなかったという部分が後期最大の反省点である。今後、私たち2年生は、1年間の地域プロジェクトの活動を終了し、来年度の2年生に引き継ぐことになるが、私たちが作った新たな台本や、前期に活動を共にした3年生の台本を来年度に引き継ぎ、活用してほしいと考える。また、私たちが3年生になっても、来年度以降の地域プロジェクトメンバーへの引き継ぎ、サポートを行うことで、より良い、そして継続性のある地域プロジェクトを作り上げていければ良いと考えています。

### 【地域からの評価】

まず、この活動を行うにあたって、場所の提供や宣伝広告をしていただいた函館蔦屋書店様のおかげで、地域の子どもたちや親御さんにたくさん来ていただくことができた。また、函館地区の子育て世代向けイベント情報のウェブサイト「ままっち！」様にもご掲載いただくなど、地域の方々の協力をいただくことができた。今後も、地域から良い評価を得られるプロジェクトとして発展してほしいと感じる。

### 【その他】

#### 年間スケジュール

前期	4月	地域プロジェクト配属 三年生との顔合わせ
	5月	劇に使う小道具づくり 劇練習
	6月	函館蔦屋書店での発表
	7月	函館蔦屋書店での発表 オープンキャンパス 中間報告会
	8月	今後の方針決め
後期	10月	劇練習 法教育についてのレクチャー
	11月	函館蔦屋書店での発表 新しい台本作り
	12月	函館蔦屋書店での発表 新しい台本作り
	1月	函館蔦屋書店での発表 成果報告会準備 総括・反省
	2月	成果報告会